

〔科目名〕 <p style="text-align: center;">経営演習 I</p>	〔単位数〕 <p style="text-align: center;">4単位</p>	〔科目区分〕 <p style="text-align: center;">演習科目</p>				
〔担当者〕 <p style="text-align: center;">長谷川直樹</p>		〔授業の方法〕 <p style="text-align: center;">演習</p>				
〔演習テーマ〕 <p style="text-align: center;">組織の中の人間関係を中心とした経営組織論について学ぶ</p>						
〔演習内容〕 <p>本演習では、経営学に関するテキスト(本や論文)の輪読と発表を行います。輪読を行う際に、分担を決め担当する部分について、担当者(担当グループおよびペア)は、熟読およびレジュメ作成を行い、パワーポイントを用いて発表を行います。その発表をもとにして、質疑応答および議論(ディスカッション)を行います。具体的なテーマとして、経営組織論、組織行動論、リーダーシップ論、異文化マネジメント論の分野について取り上げます。</p> <p>経営学科の育成する人材像の一つに「組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材」とあります。これが本演習の研究対象(組織における人間関係の問題)と本演習に参加する学生が身に着けるもの(多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材)になります。</p> <p>本演習は、自らが主体的に学び、問題発見とそれに対する答えを見つけるプロセスに他者を巻き込みながら活動に取り組むことが必要です。経営学について学ぶだけでなく、演習の中でリーダーシップやコミュニケーションなどの「人間力」も身につけることになります。</p> <p>中泊町でフィールドワークを行う場合があります(3年次の経営演習Ⅱを予定)。 欠席を繰り返す場合、単位認定はできません。</p>						
〔科目の到達目標〕 <p>グループワークおよび発表を通じて、質疑応答および議論を行い経営組織論に関して自分なりの考えを示すことができるようになる。</p> <p>演習を通じて主体的に問題を発見し、それに対する自分なりの答えを示すことができるようになる。</p>						
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕						
<p style="text-align: center;">学部</p>				<p style="text-align: center;">学科</p>		
<p style="text-align: center;">DP1</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">DP2</p>	<p style="text-align: center;">DP3</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">DP4</p>	<p style="text-align: center;">DP1</p>	<p style="text-align: center;">DP2</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">DP3</p>
〔前提条件〕						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) <p>提出課題(50%) プレゼンテーション発表(50%) チーム評価と個人評価を並行する。</p>						
〔教科書等〕 <p>適宜指示します。</p>						
〔実務経歴〕 <p>該当なし。</p>						

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):組織の中の人間関係を中心とした経営組織論</p> <p>内 容:経営組織論の長谷川ゼミ(経営演習 I)で何を学ぶのか説明します。</p> <p>教科書・指定図書:ノート講義</p>
第2回 ～ 第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営組織論、組織行動論とはどのような学問か。</p> <p>内 容:経営組織論、組織行動論について、2～5人でグループワークを行い、グループごとに発表を行います。</p> <p>教科書・指定図書:適宜指示します。</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):前半のまとめ。</p> <p>内 容:経営組織論についてのまとめ。</p> <p>教科書・指定図書:ノート講義</p>
第16回 ～ 第29回	<p>テーマ(何を学ぶか):リーダーシップ論、異文化マネジメント論</p> <p>内 容:リーダーシップ論、異文化マネジメント論について、2～5人でグループワークを行い、グループごとに発表を行います。</p> <p>教科書・指定図書:適宜指示します。</p>
第30回	<p>テーマ(何を学ぶか):全体のまとめ。</p> <p>内 容:組織行動論およびリーダーシップ論についてのまとめ。</p> <p>教科書・指定図書:ノート講義</p>